

株主のみなさまへ
第48期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

株式会社シャルレ 証券コード 9885

株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

また、この度の新型コロナウイルス感染症に罹患されたみなさま、感染拡大により生活に影響を受けているみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。

ここに当社グループ48期第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におきましては、長引く世界情勢の混乱を背景にしたエネルギー資源や原材料の高騰により、円安の急速な進行や物価上昇などを招き、国内経済は生活防衛意識の高まりによる消費者心理の悪化など、景気の下触れリスクから先行きは不透明な環境となっております。

そのような中、当社グループを取り巻く経営環境につきましては、感染症対策の制限緩和の流れに反し、第6波、第7波と罹患者は急速な拡大を示し、訪問販売業界にも大きな影響を与えております。レディースインナー等販売事業では、徐々に活動環境が改善されつつあるものの、コロナ禍前の販売活動に戻るには至りませんでした。また、前期は巣ごもり需要などにより好調に推移した、ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業におきましても、需要の一巡による売上の鈍化や価格競争が激化するなど市場の環境は一変いたしました。

このように非常に厳しい経営環境ではありますが、前連結会計年度に策定した当連結会計年度を初年度とする5か年の中期経営計画を推し進めることで、レディースインナー等販売事業の再生を実現させ、また、ウルトラファインバブル技術製品等製造販売事業におきましても、新規取引先の開拓および販路拡大や新製品の開発などを急務として取り組み、グループとしてこの難局に取り組むことで業績回復を図る所存であります。

株主のみなさまには、さらなるご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。



2022年12月
株式会社シャルレ
代表取締役社長
林 勝哉

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当第2四半期 連結累計期間 2022年9月30日	前連結会計年度 2022年3月31日
(資産の部)		
流動資産	15,314	16,892
固定資産	5,218	5,252
有形固定資産	2,308	2,264
無形固定資産	1,211	1,144
投資その他の資産	1,698	1,843
資産合計	20,533	22,145
(負債の部)		
流動負債	1,647	2,472
固定負債	812	858
負債合計	2,459	3,331
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	9,709	10,416
自己株式	△ 131	△ 131
その他の包括利益累計額	△ 2	31
純資産合計	18,073	18,814
負債純資産合計	20,533	22,145

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

単位:百万円

科目	当第2四半期 連結累計期間 2022年4月1日 ～2022年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 2021年4月1日 ～2021年9月30日
売上高	6,443	7,969
売上原価	3,047	3,369
売上総利益	3,395	4,600
販売費及び一般管理費	3,154	3,442
営業利益	240	1,157
営業外収益	23	11
営業外費用	1	1
経常利益	263	1,167
特別利益	—	7
特別損失	792	0
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△529	1,175
法人税、住民税及び事業税	15	321
法人税等調整額	34	△32
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△580	886
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△580	886

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当第2四半期 連結累計期間 2022年4月1日 ～2022年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 2021年4月1日 ～2021年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,044	2,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△352	△315
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158	△191
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,555	1,543
現金及び現金同等物の期首残高	13,235	11,095
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,680	12,638

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、116億80百万円となりました。

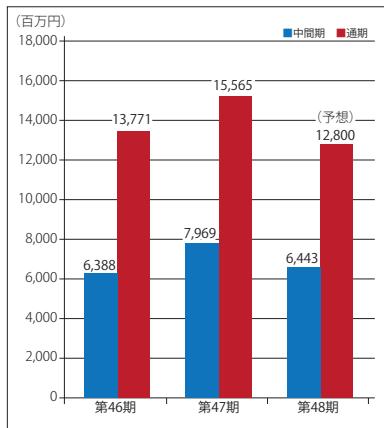
営業活動によるキャッシュ・フローは、10億44百万円の支出(前年同四半期は20億50百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失5億29百万円、減価償却費及びその他の償却費2億49百万円、賞与引当金の減少2億54百万円、未払消費税等の減少2億42百万円、法人税等の支払額3億3百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億52百万円の支出(同3億15百万円の支出)となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出1億79百万円、有形固定資産の取得による支出1億76百万円であります。

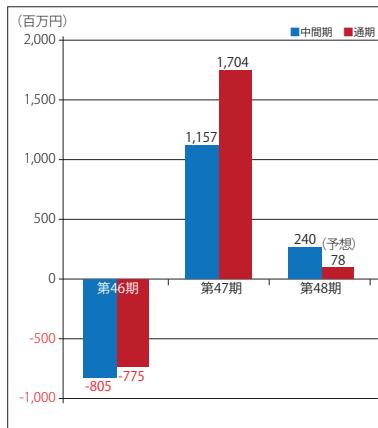
財務活動によるキャッシュ・フローは、1億58百万円の支出(同1億91百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額1億26百万円であります。

連結財務ハイライト

売上高



営業利益または 営業損失



決算ポイント

【売上状況】

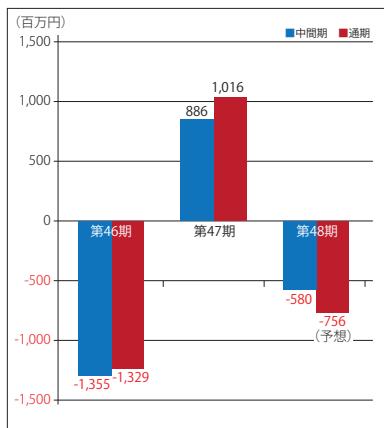
48期第2四半期連結累計期間につきまして、レディースインナー等販売事業の衣料品類の売上高は40億44百万円(前年同四半期比4.7%減)、化粧品類の売上高は10億24百万円(同7.5%減)、健康食品類の売上高は4億54百万円(同4.5%減)等となり、コロナ禍以前の販売状況に戻すことができず低調に推移いたしました。

また、連結子会社においても、シャワーヘッドの販売が需要の一巡や競争の激化により苦戦し減収となったため、通期の連結売上高は128億円を見込んでおります。

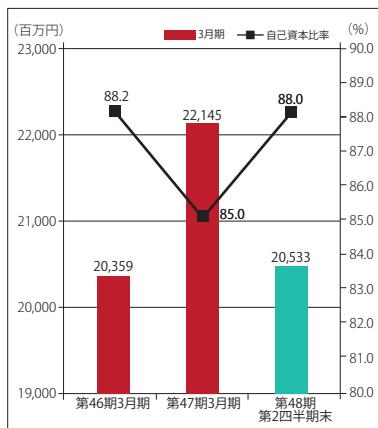
【営業利益状況】

48期第2四半期連結累計期間は、販売不振による売上の減少にともなう利益の減少と、下半期においては在庫ロスや原材料高の影響等により利益率が低下するため、通期の営業利益は78百万円を見込んでおります。

親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益または 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失



総資産・自己資本比率



【親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失】

当期6月に実施しました希望退職者の募集にともなう特別退職金を、特別損失に計上したため、通期におきましても7億56百万円の親会社株主に帰属する当期純損失を見込んでおります。

※当社グループは、第46期第2四半期連結会計期間より、連結財務諸表を作成しており、第46期連結会計年度に係る連結損益計算書には子会社の業績は6か月分のみが含まれております。

シャルレグループを代表する商品紹介

FA023/ブラジャー



【ロングセラー商品】

ノンワイヤーなのに脇すっきり、
バストを高く整える。

カラー4色、サイズ(A65~E85)

IB024/ショーツ



【ロングセラー商品】

ヒップをすっぽり包み込んで、
安定感のある履き心地。

カラー3色、サイズ(M~3L)

シャルレウエルネス/FE261/腰サポートガードル(ハイウエスト)



腰を支えて安定させ、
歩いて^{※1}お腹と太ももの筋トレ。

カラー2色、サイズ(64~98)

※1女性の1日の平均歩数は5,832歩です。
(令和元年国民健康・栄養調査)

ビューティ/エタリテ



揺るがない、わたしの自信肌。

肌へのやさしさと機能性を追求したクオリティスキンケア

健康食品/NS021/びわの葉入り まるごと発酵茶



定期お届け便対象商品

その他商品
シャルレでは多彩な
商品ラインナップを
取り揃えています。



- ・ガードル、ボディースーツ
- ・インナー、ボトム
- ・レッグニット
- ・ランジェリー
- ・ナイティ
- ・メンズ
- ・マタニティ
- ・ベビー、キッズ
- ・タオル

ベビーからメンズ商品まで多数のラインナップ

田中金属製作所/シャワーヘッド



ウルトラファインバブルの先駆者がお届けする、さらに進化したシャワーヘッド

田中金属製作所/携帯型オゾン水生成器「ポリーナ オースリーミスト」



ウルトラファインバブルとオゾン水が
除菌・消臭に革命を起こす

O³ MIST
by Bollina

当社のグループ企業である田中金属製作所製品の一例

中期経営計画

グループ中期経営計画

中期経営計画の見直しの背景及び今後の方向性

当社は、新たな中期経営計画については、従来の経営戦略の基本骨子に基づく各事業戦略において、より踏み込んだ事業構造改革を段階的に行い、またグループ企業として成長するために、中期経営計画の推進期間を5か年（2022年4月～2027年3月期）に変更しました。業績回復に向けた成長戦略を実行することで「当社グループが目指す姿」の実現に向けて、努めてまいります。今後も引き続き、経済・社会の趨勢や市場動向の変化を注視しつつ、柔軟に対応しながら新たな戦略の追加や見直しは随時行ってまいります。

目標とするグループ中期経営指標

2027年3月期を最終年度として、株主資本の効率性を表すROEの指標を加え、以下の指標を中期経営目標といたします。

連結売上高

173億円以上

連結営業利益率

8%以上

連結ROE

5%以上

グループ中期経営戦略

1. シャルレビジネス事業の再生

- (1) 販売組織の活性化に向けた環境づくり
 - ・シャルレビジネスにおける直受注・直発送(BtoC)モデルの導入
 - ・次世代のビジネスメンバー獲得を目的とした新たな販売プログラムの導入
- (2) ブランド/マーケティング戦略の強化
 - ・企業ブランドの価値向上及び商品ブランドの再編
 - ・フェムテック、フレイル、シニアビューティ領域の商品開発・展開
- (3) 働き方改革の推進強化
 - ・多様な働き方(生産性向上)に向けた職場環境づくり
 - ・改革に向けた社内風土づくり
- (4) SDGsへの取り組みの推進強化
 - ・環境問題やジェンダー平等への取り組み
 - ・健康増進企業としての取り組み

2. 新規事業開発による新たな柱の創造

- (1) 子会社の事業運営
 - ・オゾン技術を利用した商品開発及び営業体制の強化
- (2) M&A・提携等による新事業の開発
 - ・国内における第3の柱となる事業の開発
- (3) 新たな海外販売ルートの開拓・展開
 - ・ベトナム・台湾における販路拡大に向けたテスト販売

株主メモ・株式に関する手続きについて

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会については3月31日 利益配当金については3月31日 中間配当を行う場合は9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先0120-094-777(通話料無料)
同連絡先	電子公告 公告掲載 URL https://www.charle.co.jp/ company/outline/publicnotice.html (ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子 公告による公告をすることができない場合は日本経 済新聞に掲載。)
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
証券コード	9885

【注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

『コーポレートガバナンス』の内容に関しましては、
以下よりご覧いただけます。

【URL】

<https://www.charle.co.jp/corporate/governance/>

【シャルレホームページ】

「シャルレホームページ」⇒「企業情報」⇒「コーポレートガバナンス」
を選択

株式に関する手続きについて

特別口座に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会等の内容	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※)	○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ
お問合せ先	
特別口座管理機関	株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料)	
手続書類のご請求方法	
インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/	

(※)特別口座に口座をお持ちの株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は、お選びいただけません。

証券会社等に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会の内容	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	○左記以外の お手続き、ご照会等
お問合せ先	
株主名簿管理人	口座を開設されている証券会社等に お問合せください。
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料)	

「株主総会資料の電子提供」および 「株主総会資料の書面交付請求」のご案内

1. 株主総会資料の電子提供制度の概要

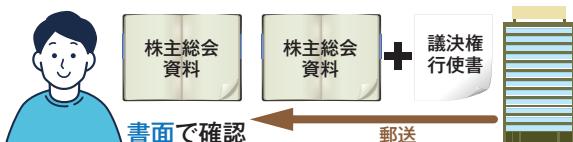
**2023年度の株主総会から
株主総会資料が電子化(ウェブ化)されます。**

「会社法の一部を改正する法律」(令和元年法律第70号)の施行に伴い、2023年度の株主総会より株主総会資料を自社ホームページ等のウェブページに掲載する方法により、適法に株主様にご提供したものとす「株主総会資料の電子提供制度」が導入されます(すべての上場会社で義務化されます)。

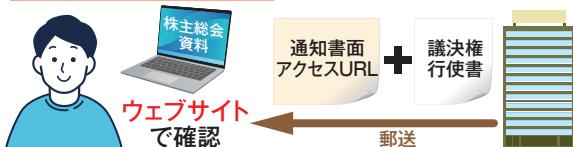
これまで、株主様に対して株主総会資料をご郵送しておりましたが、本制度の導入に伴い、原則として、株主総会日時・場所・議案内容・株主総会資料を掲載しているURL等が記載される通知書面をご郵送することになります。

株主様には、当該通知書面をもとに、ウェブサイトへアクセスいただき、株主総会資料をご確認いただくこととなります。

これまでの株主総会



これからの株主総会



※株主総会資料とは、株主総会参考書類、事業報告、監査報告、計算書類および連結計算書類を指します。

2. 株主総会資料の書面交付請求制度の概要

「インターネットのご利用が困難な株主様」および「これまでと同様に株主総会資料を書面での交付をご希望される株主様」は、書面交付請求制度をご利用いただき、議決権行使基準日(2023年3月31日)までにお申し込みください。

なお、書面交付請求制度のお申し込みについては、口座を開設している証券会社または当社の株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)が受け付けを行っております(下記のフリーダイヤルにご連絡ください)。

書面交付請求制度のお申し込み先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル 0120-696-505

(受付時間:土・日・祝日を除く平日9:00~17:00)

<https://www.tr.mufig.jp/daikou/denshi.html>

※株主総会資料とは、株主総会参考書類、事業報告、監査報告、計算書類および連結計算書類を指します。

※議決権行使基準日を過ぎてお申し込みとなった場合は、2024年度の株主総会からの対応となりますので、あらかじめご容赦ください。



株式会社シャルレ
<https://www.charle.co.jp/>